

2010年

RCC早春神楽共演大会

神楽

五穀豊穡を^{ことほ}寿ぐ、
神々との祭典。

暮らしの中で、脈々と息づいてきた伝統芸能・神楽。
RCC早春神楽共演大会は
「五穀豊穡を寿ぐ神々との祭典」をテーマに
神楽そのものを見つめ直すとともに
将来の在り方を模索し、更なる向上を目的とする、
素晴らしい大会をめざします。



画 山根久明

日時／2010年2月28日(日)

開場／午前8:45 開演／午前9:30

場所／広島厚生年金会館 大ホール

入場料(前売り)／S席5,500円 A席4,500円 (※当日券は各1,000円増)
【税込・全席指定】

演目【第一部/原点を見つめる】

「天の岩戸」原田神楽団 (安芸高田市)

演目【第二部/伝統を受け継ぐ】

「神武」筏津神楽団 (北広島町)
「黒塚」大都神楽団 (島根県江津市)
「大江山」三谷神楽団 (安芸太田町)
「八岐大蛇」山王神楽団 (北広島町)

演目【第三部/新たなる神楽への挑戦】

「義経平氏追討」琴庄神楽団 (北広島町)
「戻り橋」東山神楽団 (北広島町)
「頼政」大塚神楽団 (北広島町)
「滝夜叉姫」上河内神楽団 (安芸高田市)
「紅葉狩」中川戸神楽団 (北広島町)

チケットの
お求めは

RCC文化センター (082) 222-0044 / デオデオ本店 (082) 247-5111 / アルパーク天満屋 (082) 501-1745
ひろしま夢ぶらざ (082) 544-1122 / 福屋広島駅前店チケットサロン (082) 568-3942 / コムズ安佐パーク (082) 810-2000
フレスタ加計店 (0826) 22-2155 / フレスタ沼田店 (082) 830-1700 / 千代田サンクス (0826) 72-3939

■主催:中国放送・RCC文化センター ■お問い合わせ:RCC神楽実行委員会(RCC文化センター内) TEL(082)222-0044

2010年 RCC早春神楽共演大会

第一部 原点を見つめる

天の岩戸

原田神楽団(安芸高田市)

太陽=天照大神は、弟・須佐之男命の乱暴を嘆き、天の岩屋へ籠られます。すると、天も地も常闇(とこやみ)となり、作物は枯れ、悪神がはびこります。そこで、児屋根之命(こやねのみこと)をはじめ、八百万の神々が集い、大神のお出ましを願う宴を開きます。

天鈿女命(あめのうずめのみこと)が舞い、神々が大騒ぎを演じると、この不思議な出来事に大神が少し戸を開かれます。これを待っていた豪力の手力男命(たちからうのみこと)が大岩を押し開きます。

そして、世の中に光と平和が戻ったという物語です。

第二部 伝統を受け継ぐ

神武

篠津神楽団(北広島町)

神倭余彦命(かむやまといわれひこのみこと・神武)は、「どの地を都とすれば天下を治められようか、東方をめざそう」と、日向の国・高千穂を出発し、大和の国へ着きます。この地で、長髓彦(ながすねひこ)の軍と戦いますが、苦戦の末、神武の軍は南に向かい、熊野から大和をめざします。

険しい山々と、土着の豪族との戦いを重ねながらも天津神(あまつかみ)の使い八咫鳥(やたがらす)の導きによって大和・畝傍山(うねびやま)の山麓、橿原(かしわら)の地に辿り着き、ここを都として天下の統一を計るという物語です。

黒塚

大都神楽団(鳥根県江津市)

『鬼が棲む』と里人は恐れ、近づくことのない那須野ヶ原の黒塚へ、那智の東光坊の山伏・阿闍利祐恵(あじゅりゆうけい)と剛力(ごうりき)がさしかかる頃、日が暮れました。そこで、柴の庵(粗末な小屋)を見つけ、剛力は一晩の宿を願い、借ることが出来ました。この宿主こそ、里人に恐れられている金毛九尾(きんもうきゅうび)の狐の化身だったのです。

夜中近く、狐は鬼女となって、二人を襲います。剛力は食べ殺され、山伏は逃げ去ります。その後、弓の名人・三浦ノ介(みうらのすけ)、上総ノ介(かずさのすけ)によって悪狐は退治されます。

悪狐は、絶命の時「毒石となって世に害を放つてやる」と言い残します。この物語は「安達ヶ原の鬼女の伝説」と「那須野ヶ原の殺生石(悪狐)の伝説」、この二つの伝説が組み合わされた物語です。

大江山

三谷神楽団(安芸太田町)

平安時代も中頃、妖術を使う鬼たちが都に舞い降りて悪事の限りを尽くし、京は恐怖の都と成り果てます。

陰陽師が「鬼の棲み家は丹波の国・大江山にある。」と告ぐと、都の守・源頼光とその四天王に鬼神退治の勅命が下され、一行は丹波の国へと向かいます。いよいよ険しい山道に入ると、都からさらわれた娘に出会い、頼光は鬼退治に来たことを告げ鬼の岩屋へと案内させます。頼光と鬼の頭・酒吞童子は山伏問答を繰り返しますが、山伏修験者と認めると、頼光主従が持ち来た御神酒を「都の酒」と飲み尽くし、酔い伏してしまいます。時は今と頼光主従は鬼たちを成敗し、岩屋に閉じ込められていた娘たちを従い都へ凱旋(がいせん)するという物語です。

八岐大蛇

山王神楽団(北広島町)

出雲の国に暮らす足名稚(あしなずち)・手名稚(てなずち)老夫婦の八人の娘は、年毎に一人またひとりと大蛇に飲み込まれ、七人まで失います。

この国へ高天原を迫られた須佐之男命が降りて来ます。そこには、嘆き悲しむ老夫婦と八人目の奇稲田姫(くしいなだひめ)が在り、命はその詔を聞き、大蛇を退治して姫を守ることを決めます。

老夫婦は命の意に従い、毒酒を造り置き、その後ろに姫を立たせるとどこからともなく大蛇が現れ、毒酒に映った姫を懸命に飲み干し、やがて酔い伏してしまいます。待ちかまえていた命は、壮絶な闘いの末、大蛇を退治し、切り裂いていくと大蛇の尾から一振りの太刀が出てきます。これを「天の叢雲(あめのむらくも)の剣」と名付け天照大神に捧げると共に、めでたく奇稲田姫を妻にするという物語です。

第三部 新たなる神楽への挑戦

義経平氏追討

琴庄神楽団(北広島町)

源氏と平氏の長い戦いの歴史も、いよいよ雌雄を決する時を迎え、壇ノ浦で幼い安徳天皇を抱いた二位の尼を始め平家一門は、源義経・武蔵坊弁慶らによって追いつめられ、ことごとく海中に没し滅びてしまいます。しかし討ち死にした平家の総大将平知盛はその恨みを晴らすべく怨霊となります。

その後、後白河法皇の策略によって、兄頼朝から追われる身となった義経は、都を離れ奥州へと落ちて行きます。義経一行が大物浦にさしかかったとき、空が一点にわかにかき曇り、知盛の亡霊が現れます。石清水八幡のご加護と法華経の法力によって難を逃れた一行ですが、この先の多難を思い静御前を気遣う義経。自分があることで義経に危険が及ぶことを恐れる静。吉野山での身を切るような別れの後、一行は再び奥州へ向かい旅立っていくという物語です。

戻り橋

東山神楽団(北広島町)

時は平安中期、10世紀終わり頃、一条天皇の御代、丹波の国大江山に酒吞童子という悪鬼が多くの手下を従えて立てこもり、都はもとより付近一帯の村里に出没し、悪事の限りを尽くしていました。酒吞童子の手下、茨木童子は老婆に化けて夜毎平安の都、羅生門・戻り橋のあたりに現れ、都人を悩ませていました。

源頼光の四天王の一人、渡辺綱が命を受けて成敗に向かいますが、茨木童子の妖術により酒吞童子が現れ、渡辺綱の命が危うくなります。しかし、石清水八幡の御神告によって、坂田金時が加勢し、格闘の末、茨木童子は左の腕を切り取られ、酒吞童子と共に大江山へと逃げ帰るという物語です。

頼政

大塚神楽団(北広島町)

平安時代の終わり、毎夜丑三つ時(午前二時)の刻、京都三条ヶ森より不思議な動物が黒雲にのって現れ、気味の悪い鳴き声で都人を恐れさせていました。

時を同じくして、帝は原因不明の魔物に取り付かれたようにうめき悩まされはじめます。

そこで、弓の名人・源頼政は勅命を受け、この怪物を退治します。この怪物は、頭は猿、身体は牛、手足は虎、尾は蛇の形をして「鶴(ぬえ)」といい、頼政の鶴退治の後、都に平和が戻ったという物語です。

滝夜叉姫

上河内神楽団(安芸高田市)

東の国の新皇を名乗った平将門(たいらのまさかど)は、天慶(てんぎょう)の乱(らん)で藤原秀郷(ふじわらのひでさと)・平貞盛(たいらのさだもり)の軍に敗れ去ります。一人生き残った平将門の娘・五月姫(さつきひめ)は、父の怨念を果たす為、貴舟(きふね)の社(やしろ)で「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷(さと)、下総の国、猿島(さしま)の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

そこで陰陽師・大宅中将光圀(おおやのちゅうじょうみつくに)らは、朝命を奉じて下総の国へと向かいます。陰陽の術と邪鬼の妖術の激しい戦いの末、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず無惨に敗れ去っていくという物語です。

紅葉狩

中川戸神楽団(北広島町)

奥州で美しく育てられた紅葉は、都に上り紅葉と名を改め源経基に寵愛を受けるようになります。時を同じくして経基の正妻が病に伏すようになります。それは、経基を自分だけのものにしようとした紅葉が夜毎夫人を呪っていたからだったのです。

陰陽師によって見破られ、死罪となる処を経基の恩情により信州戸隠山に流されます。都の暮らしが忘れられない紅葉は、再び都へ向かうため手下を集め、財力をつけるため、里人から略奪をするようになります。平維茂は、紅葉征伐に戸隠山に向かい、麓で陣を張り紅葉を誘い込み執拗に問いただします。すると紅葉は次第に鬼の姿になり、取り逃してしまいます。

維茂は、北向観音に参拝して「降魔の剣」を授かり鬼の住む岩屋へと切り込み、激闘の末、紅葉を討ち取るという物語です。